

いのちの まさき

文・写真／宮崎雅子

赤い旗の応援団

「がんばれ がんばれ かあちゃん」

お風呂場の前で5歳の洋輔くんは お母さんに声援をおくる

両手には赤い紙と割りばしで作った旗を握りしめている

朝方陣痛が始まり 家族4人でお散歩に出かけた

公園の展望台に登ると満開の桜が見渡せた

助産院でお昼ご飯を食べ

お昼寝するとやっと夕方陣痛が強くなってきた

「直哉も やって」兄は旗を1本弟に渡し こんどは2人で合唱した

「がんばれ がんばれ かあちゃん がんばれ がんばれ かあちゃん」

夜9時58分 たたみの部屋に日向子ちゃんの産声が響いた

久仁子さんの目にはあの日の桜と赤い旗が

今も鮮やかに焼きついている



みやざき まさこ 写真家。共著書に『いのちを産む』(学研)、写真集に『ベビーサイエンス』(メディカ出版)『胎動』(ショパン)、DVD『いのちの訪れ』(UTEKIANI)など。出産や赤ちゃんなどいのちをテーマにしたドキュメンタリー写真を撮り続けている。